



## プロセスリーディング用ワークシート

解答例

テーマ

## 日本語は曖昧で非論理的な言語なのか？

記入する	読むこと	予習段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった (理由: )
		授業段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった (理由: )
	クラスの話し合いから考えたこと					

## 課題Ⅰ

「言語が国の発展を阻む」という議論において、よく挙げられるのは、何の問題ですか。

「語彙の貧しさ」の問題がよく挙げられる。

## 課題Ⅱ

2012年にシカゴ大学の研究チームが発表した論文の主張は何ですか。

母語による思考よりも外国語での思考のほうが、バイアスが制御された論理的な判断を導く場合があるということ。

## 課題Ⅲ

「フレーミング効果」とは何ですか。自分の言葉で説明してください。

論理的には同じ内容でも、肯定的な文で説明されたほうが、感情的に好ましく思ってしまうという心理的バイアスのこと。

## 課題Ⅳ

「特定の言語に対する批判を相対化できる」とは、どういう意味ですか。本文の内容を踏まえて説明してください。

日本語には欠陥があるという批判に対して、異なる考え方を示すことができるという意味。つまり、日本語（母語）より英語（外国語）のほうがより論理的な判断ができるのは、日本語という言語、あるいは自分の母語に問題があるからではないということ。

## 課題Ⅴ

翻訳作業において、母語の見直しが起きるのはなぜだと考えられますか。

翻訳では、母語と外国語の対応関係を考えて置き換える必要があるため、惰性や直観で使っている母語の構造や意味を改めて考えることになるから。

## 次の授業のために…

筆者の主張についてあなたはどのように考えますか。



# プロセスリーディング用ワークシート

解答例

テーマ

「失語症」の症例から我々は人や社会について何を学べるのか？

記入する	読むこと	予習段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった (理由: )
		授業段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった (理由: )
	クラスの話し合いから考えたこと					

**課題Ⅰ**

失語症研究において、従来の分類とヤーコブソンが主張した分類の違いを説明してください。

従来の研究で失語症は、「送出性の失語」と「受容性の失語」に分類されていたが、ヤーコブソンは人間の言語が持つ語の「選択」と「結合」という二つの機能に注目し、「相似性異常」と「隣接性異常」に分類した。

**課題Ⅱ**

ヤーコブソンの議論によると、失語症とはどのような状態であると考えられますか。

失語症というのは、語の「選択」「結合」のいずれかが損傷や喪失した状態であると考えられる。

**課題Ⅲ**

ヤーコブソンの分類から、詩人と小説家は言語を操る能力がどのように異なると考えられますか。

詩人が「隠喩」による表現を得意とし、意味の「相似性」に敏感で、言葉を「選択」する能力に長けているのに対し、小説家は「隣接性」のある出来事を結合し、文脈を作り出す表現に長けていると考えられる。

**課題Ⅳ**

相似性異常に陥った患者の発話について「『私的』な性格が強くなる」と言える理由は何ですか。

相似性異常に陥った患者の発話は、主語が省かれやすくなり、内容も文脈に依存したものになるという。目の前の「状況」が意味伝達の拠り所になるため、「身内」や「内輪」の人々以外の外部の人に意味を伝えることが難しくなること。

**課題Ⅴ**

筆者が、日本人が主体性を持って「選択」することが苦手であるとする理由は何ですか。

日本は同質性の高い社会であると言われており、現実の生活や仕事の中で共有される文脈が非常に豊かであるため、「言葉の選択」に敏感でなくても、言いたいことが伝わってしまうからである。

次の授業のために…

筆者の主張についてあなたはどのように考えますか。



## プロセスリーディング用ワークシート

解答例

テーマ

## 社会の「絆」は人々の心を救うことができるのか？

記入する	読むこと	予習段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった ( )
		授業段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった ( )
	クラスの話し合いから考えたこと					

## 課題Ⅰ

デュルケームが『自殺論』で主張したことは何ですか。本文の記述をもとに説明してください。

- ・自死はあくまでも健全な人々に生じるものであることを指摘した。
- ・自殺率は人種や気象条件ではなく、社会構造によって決まると主張した。
- ・社会が宗教的、家族的、政治的にどれだけ強く統合されているかによって、自死が少なくなると論じた。

## 課題Ⅱ

デュルケームが、貧しさは自殺増加の原因とはならないと主張した根拠は何ですか。

19世紀のヨーロッパでは、富裕層の自死が目立つ一方で、貧困はむしろ自死の防止要因となっていたこと。

## 課題Ⅲ

デュルケームの説について、ポープやスタークの調査で明らかになったことは何ですか。

カトリックやプロテスタントといった宗派の違いは自殺率に影響していないことが明らかになった。(ポープは19世紀のデータについて統計処理を施して再分析し、20世紀のデータについても分析した。また、スタークは、1983年にアメリカの60都市圏で調査を行った。)

## 課題Ⅳ

マーシャルの調査で明らかになったことは何ですか。また、その結果とデュルケームの説はどのように関係しますか。

戦争の有無は自殺率にほぼ影響しないことが明らかになった。マーシャルは、失業率の低下を「経済的統合」と呼び、人々が「雇われる」ことを通じて社会に統合され、それによって自死する人が減少すると考えたが、これは、社会的統合が自死を減少させるというデュルケームの主張に当てはまる。

## 課題Ⅴ

筆者が、コロナ禍における自死の増加について主張していることは何ですか。

社会的な絆が希薄化することで自死の増加が進行することも忘れてはならず、人々が社会参加する道を拓き、心の支えが失われないよう配慮することが重要であるということ。

## 次の授業のために…

筆者の主張についてあなたはどのように考えますか。



## プロセスリーディング用ワークシート

解答例

テーマ

紙の本、手書きのノート、対面での会話は時代遅れなのか？

記入する	読むこと	予習段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった ( )
		授業段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった ( )
	クラスの話し合いから考えたこと					

## 課題Ⅰ

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大以降、学校や企業ではどのような変化があったと説明されていますか。

- ・学校では「オンライン授業」が行われるようになり、企業でも「オンライン会議」が多用されるようになった。
- ・職員や社員などが自宅で仕事をする「テレワーク」を採用する企業が増えた。
- ・資料を紙で印刷するのではなくパソコンやタブレットの画面で読む機会が多くなった。

## 課題Ⅱ

テレワークについて指摘されている「弊害」とはどのようなことですか。

- ・ある程度の実施時間までなら労働生産性を改善するものの、時間が長すぎると逆に生産性が低下する。
- ・「仕事と家事の間のバランス」を自分で取らなければならないことから、新たなストレスが発生する。

## 課題Ⅲ

ケンブとグリーヴの実験で明らかになったことは何ですか。

オンライン授業と対面授業を比較する実験を行った結果、学生の多くは対面授業のほうに高い満足度を示したが、成績を比較すると、どちらの場合も統計的に有意な差は見られなかった。

## 課題Ⅳ

スモーカーらが実施した研究で、「手書き」について明らかになったことは何ですか。

紙に手書きしたグループとパソコンでタイプしたグループを比較した結果、認識テストについては、手書きグループのほうが、正解が多く誤答が少ないという統計的に有意な結果が得られた。(つまり手書きのほうが、記憶に残るということ)

## 課題Ⅴ

筆者が言う「身体的重要性」とはどのようなことですか。学校と仕事の場面、それぞれについて例を挙げてください。

例えば、学校では手を使って書くことで記憶が強化されるということ。また、仕事の場面では、実際にオフィスに行って、対面で信頼関係を築きながら仕事を進めたり、物理的に移動して通勤することで「仕事と家事の間のバランス」をとり、その場にふさわしい「役割」に切り替えたりすること。

次の授業のために…

筆者の主張についてあなたはどのように考えますか。



## プロセスリーディング用ワークシート

解答例

テーマ

## 頭脳明晰な人々も大きな失敗をするのはなぜか？

記入する	読むこと	予習段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった (理由: )
		授業段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった (理由: )
	クラスの話し合いから考えたこと					

## 課題Ⅰ

「IQ と注意力との関係を調べた研究」はどのように行われましたか。手順をまとめてください。

1. IQ テストに回答する
2. コンピュータ画面の図形を見て、動いている方向を回答する
3. IQ テストの結果と2の回答の速さの関係を検証する

## 課題Ⅱ

この研究の結果から示唆されることについて、筆者はどのように解釈していますか。

頭脳明晰な人たちは、物事の全体像をあえて無視して一部の情報に注意を集中する傾向があり、それによって鋭い分析や発見が可能になっているかもしれないということ。

## 課題Ⅲ

『パターン認識能力』と『社会的ステレオタイプ』の形成の関係を調べる研究」はどのように行われましたか。手順をまとめてください。

1. 36枚の宇宙人のイラストと行動の説明文を見て覚える
2. 再度、宇宙人の顔を見せられ、何をしていたかを選択肢の文章から選ぶ
3. 宇宙人の顔に行動がどのように紐付けられているかについて間違い方を検討する
4. パターン認識能力のテスト（法則性のある情報を予想する）に回答する
5. イラストを使ったテストの回答結果とパターン認識能力テストの結果を検証する

## 課題Ⅳ

上記の研究の結果からどのようなことが示唆されますか。

パターン認識能力の高い被験者（頭脳明晰な人）は、組み合わせを覚えながら同時にルールに変換して認識しているので、間違える場合も法則性のある間違い方をするとということ。

## 課題Ⅴ

筆者が「我々が『愚鈍さ』と考えているものが実は人類という種が存続する上で欠かせない『能力』なのかもしれない」と言う理由は何ですか。

人間社会はとても複雑であり、複雑な問題について賢明な判断を下すには、素早くパターンを見つけ出すような思考（頭脳の明晰さ）と、ゆっくりとして曖昧で、退屈な思考（愚鈍さ）の適正なバランスが必要だから。

## 次の授業のために…

筆者の主張についてあなたはどのように考えますか。



# プロセスリーディング用ワークシート

解答例

テーマ

## 人はなぜ「陰謀論」を信じるのか？

記入する	読むこと	予習段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった
		授業段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった
	クラスの話し合いから考えたこと					

### 課題Ⅰ

日航機墜落事故について、人々が不信感を高めたのはなぜだと説明されていますか。

墜落直後、現場での処置が非常に遅れてしまったり、証拠の保全のために立ち入りが制限されたりしたから。

### 課題Ⅱ

T・ゲルツェルはどのような調査を実施しましたか。

1992年にアメリカ合衆国のニュージャージー州に住む348名を対象として、代表的な10の陰謀論についてどの程度信じられているのかを調査した。また、協力者の人種、職業、学歴などの個人属性や心理的傾向についても調査し、陰謀論を志向する人の傾向について検討した。

### 課題Ⅲ

T・ゲルツェルの調査の結果、明らかになったことは何ですか。

マイノリティであり、社会や政治に対して悲観的であり、かつ他人に対する信頼感が低いという条件に該当する人は陰謀論を信じやすいこと。

### 課題Ⅳ

J・E・オリバーらの調査の結果は、先行研究の結果とどのように異なりますか。

多くの先行研究は「保守主義」や「政治に対する無力感」「他者への信頼の欠如」が陰謀論を信じやすくする原因であるとしていたが、それらの影響は比較的小さく、「超自然的な力を信じる傾向」と「善悪二元論の世界観」が陰謀論の信じやすさと強く関係していた。

### 課題Ⅴ

「アメリカ文化そのものが、陰謀論によって強く特徴づけられる」とは、どういうことですか。本文を踏まえて、説明してください。

歴史家のR・ホフスタッターが著書の中で「超自然的な力への信仰と陰謀論的な世界観こそが、アメリカの政治を動かす原動力なのだ」と論じたように、アメリカ国民は超自然的な力を信仰し、陰謀論を信じやすい傾向を持っているということ。

## 次の授業のために…

筆者の主張についてあなたはどのように考えますか。



# プロセスリーディング用ワークシート

解答例

テーマ

人は「未来の自分」をどこまで想像できるのか？

記入する	読むこと	予習段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった
		授業段階	a. よくわかった (理由: )	b. だいたい	c. やや難しかった	d. かなり難しかった
	クラスの話し合いから考えたこと					

**課題Ⅰ**

著書『ブラック・スワン』の中でタレブは、何を主張していますか。

人類はもう少し自分の予測能力を疑って、未来の「不確実性」に対して謙虚にならなければならないと主張した。

**課題Ⅱ**

「歴史の終わり」幻想とはどのような学説ですか。簡単にまとめてください。

人間は、時間の力を過小評価していて、将来は現在の単純な延長であり、緩やかにしか変化しないと考えるバイアスを持っているという学説。

**課題Ⅲ**

D・ギルバートとT・ウィルソンらが行った第一の実験で明らかになったことは何ですか。

「現在の自分のパーソナリティ特性」の回答と、「十年前の自分」「十年後の自分」についての回答を比較した結果、過去の変化よりも、未来の変化についての予測が小さくなる傾向があることが明らかになった。

**課題Ⅳ**

D・ギルバートとT・ウィルソンらが行った第二、第三の実験で、新たにわかったことは何ですか。

第二・第三の実験でも、第一の実験と同様に「歴史の終わり」幻想の存在が確認されたが、年を取ることでバイアスが徐々に縮小する傾向が見られた。

**課題Ⅴ**

本文で筆者が言いたいことは何だと考えられますか。自分の言葉で説明してください。

「歴史の終わり」幻想によって人間は将来の変化を小さく予想しがちである。将来を予測できると慢心するのでも、考えることを放棄するのでもなく、タフで冷静な精神を保つことが必要である。

次の授業のために…

筆者の主張についてあなたはどのように考えますか。